

この4月に本校の校長に着任しました、松本英雄です。どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は小学部に10人、中学部に12人、高等部に26人の新入生を迎え、学校全体では小学部55人、中学部32人、高等部80人、合計167人の児童生徒数となりました。毎日子どもたちのにぎやかな声が響き、「ぼく わたし かがやいています」のキラリとした姿が学校のあちらこちらに見られます。

しかしながら、現在とはにもかくにも新型コロナウイルスが猛威を振るっており、その影響は学校や家庭での生活全般に渡って計り知れないほどです。この現状においては、何をおいてもまずは「安全・安心」が最優先。4月当初から、子どもたちの健康観察や学習環境の整備、学習内容やグルーピングの調整、体調不良の子どもたちに対する迅速で正確な対応等々、職員一人一人が危機意識を高く持ち、知恵を集め一丸となって「安全・安心」の確保に努めているところです。

本校はまた、従前から「地域に開かれた学校」を標榜し、地域の多くの方々とかかわりを深め、連携した取組を進めてきました。これは、本校の大きな大きな財産だと思っています。ところがこの地域の方々との連携・協働についても、昨年度から新型コロナウイルスの影響で実施が難しくなっている状況で、たいへん残念なことです。感染の影響を受けない内容については引き続き連携を深めていながら、現在実施できていないオープンスクールやハートフルシンポジウム、ボランティア共生大学等については、感染が収まり次第、再開したいと考えています。

新型コロナウイルスの影響は社会全体に広がり、ついマイナス面にばかり目が行きがちですが、視点を変えると「今しかできないこと」を見つけてチャレンジできる機会でもあります。「当たり前だったこと」の次の「もっといいこと」を見つけるためには、柔軟な発想と知恵の結集が不可欠です。本校は今年度も精一杯取組を進めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

令和3年4月

熊本県立荒尾支援学校長 松本 英雄